

様式1

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

- ### ⑤プログラム構成科目

[illegible]

⑥ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		授業に含まれているスキルセットのキーワード
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット: 「情報リテラシー(基礎)」2回目、「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目 ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化: 「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目 ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会:「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど): 「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど: 「情報リテラシー(応用)」4回目
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など): 「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化など:「情報リテラシー(応用)」12回目、13回目 ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など:「情報リテラシー(応用)」11回目、2回目
	1-5	・教育、芸術、流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介:「情報リテラシー(応用)」1回目、2回目
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues): 「情報リテラシー(基礎)」2回目、「情報リテラシー(応用)」14回目 ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト: 「情報リテラシー(応用)」14回目 ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護: 「情報リテラシー(応用)」14回目 ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断): 「情報リテラシー(応用)」14回目
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性):「情報リテラシー(応用)」14回目 ・匿名加工情報、暗号化と復号、ユーザ認証と、パスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取:「情報リテラシー(応用)」14回目
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値): 「情報リテラシー(応用)」10回目 ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値: 「情報リテラシー(応用)」5回目、6回目 ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡):「情報リテラシー(応用)」12回目 ・観測データに含まれる誤差の扱い:「情報リテラシー(応用)」1回目
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図): 「情報リテラシー(応用)」3回目、9回目、12回目 ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト): 「情報リテラシー(応用)」13回目 ・相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成、プレゼンテーションなど): 「情報リテラシー(基礎)」12回目、13回目、14回目
	2-3	・データの集計(和、平均): 「情報リテラシー(基礎)」8回目、「情報リテラシー(応用)」5回目 ・データの並び替え、ランキング: 「情報リテラシー(基礎)」11回目、「情報リテラシー(応用)」9回目

⑦ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

・情報および基礎的なコンピュータに関する概念を理解することができる。 ・大学生生活に必要な情報機器を適切に活用するための知識・技能を身に付けることができる。 ・インターネット及び情報活用に関する基礎的な知識を理解することができる。 ・Microsoft Officeの演習を通して、レポートやビジネス文書の作成、表計算ソフトにおける数式・関数の活用やグラフ作成、プレゼンテーション資料の作成等の技能を身に付けることができる。 ・数理的な考え方に基づき、数量やデータを用いた科学的思考を行うことができる。 ・データの中から必要な情報を抽出し、整理・分析することができる。 ・AI(人工知能)の基礎的な仕組みや活用方法について理解することができる。
--

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度	令和7	年度(和暦)
------------	-----	--------

②履修者・修了者の実績(「学生数」「入学定員」「収容定員」は令和7年5月1日時点で記載)

[illegible]

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数

(常勤)	58	人
(非常勤)	100	人

② プログラムの授業を教えている教員数(令和7年度)

2	人
---	---

③ プログラムの運営責任者

(責任者名)	安村 清美
(役職名)	副学長、教学マネジメント検討会議議長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(名称)	教学マネジメント検討会議
------	--------------

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

(名称)	田園調布学園大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの運営に関する規則
------	---

⑥ 体制の目的

今後のデジタル社会において、本学の学生が「データ」に基づき事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得することを目的として、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの推進、教育の質の向上及び円滑な運営を図る。

また、教学マネジメント検討会議では、本学における数理・データサイエンス・AI教育に関する授業科目及び教育プログラムについて、部会からの集計結果などを基に改善・向上並びに評価・点検を行う。

⑦ 具体的な構成員

副学長 安村 清美
 人間福祉学部長 川名 正昭
 子ども教育学部 教授 番匠 一雅
 人間福祉学部 准教授 江島 尚俊
 教学支援課 課長 古賀 康一郎
 教学支援課 主査 井上 慧祐

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和7年度履修率	25%
令和8年度予定	50%
令和9年度予定	75%
令和10年度予定	100%
令和11年度予定	100%

具体的な計画

本教育プログラムは、学士課程教育において必要な内容として位置付け、全学1年次の必修科目として配置している。

また、本プログラムは令和7年度以降の入学生を対象としていることから、学年進行に伴い履修率は段階的に向上し、令和10年度には100%に達する見込みである。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本教育プログラムは、学士課程教育において必要な内容として位置付け、全学1年次の必修科目として配置している。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

本教育プログラムは、学士課程教育において必要な内容として位置付け、全学1年次の必修科目として配置している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学においては、「情報リテラシー(基礎)」について、子ども教育学部では対面授業、人間福祉学部及び人間科学部ではオンデマンド形式の授業として実施している。

また、「情報リテラシー(応用)」は、全学部においてオンデマンド形式で開講し、学生の学修状況に応じて柔軟に受講できる体制としている。授業においては、小テスト等により理解度の把握を行い、その結果を次回の講義動画等でフィードバックするなど、学生の理解促進に向けた取組を実施している。

開設初年度における修得率は以下のとおりである。

・「情報リテラシー(基礎)」

人間福祉学部:87%、子ども教育学部:96%、人間科学部:71%

・「情報リテラシー(応用)」

人間福祉学部:80%、子ども教育学部:68%、人間科学部:67%

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

オンデマンド授業においては、LMSを活用して実施しており、学生からの質問には随時対応できる体制を整えている。

また、オフィスアワーを周知し、対面での質問にも対応している。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制

自己点検・評価委員会、教学マネジメント検討会議

(責任者名) 安村 清美

(役職名) 副学長、教学マネジメント検討会議議長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点		
	プログラムの履修・修得状況	本学では、令和7年度入学生よりカリキュラム改編を行い、それに併せて本教育プログラムを導入した。 前期開講科目「情報リテラシー（基礎）」の修得率は、人間福祉学部87%、子ども教育学部96%、人間科学部71%であり、全学では86%となった。 後期開講科目「情報リテラシー（応用）」の修得率は、人間福祉学部80%、子ども教育学部68%、人間科学部67%であり、全学では74%となった。 未修得者については次年度に再履修とするが、すべての学生が確実に修得できるよう、オフィスアワー等を活用し学修支援を強化していく。
	学修成果	履修者は現代社会において不可欠な素養である「データリテラシー」及び「AI活用能力」を体系的に修得することができた。 具体的には、統計学やプログラミングの基礎知識を基盤として、Excelを活用した実践的なデータ分析スキルを身に付けることができた。 加えて、単なるツール操作にとどまらず、度数分布表や散布図等を用いたデータの可視化を通じて、客観的根拠に基づき意思決定を行う「データ駆動型」の思考プロセスを学修することができた。 一方で、数式や記号に苦手意識を持つ学生も見受けられることから、今後は基礎事項に関するより丁寧な説明や個別支援の充実を図り、理解促進に努めていく。
	学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度	多様な学科の学生が受講し、AIの社会的影響や倫理、リスクに対する理解の深化が見られた。全体としてリテラシーの向上が確認されるとともに、本プログラムが将来のキャリア形成に有益であるとの肯定的な認識が示されている。加えて、継続的な学習に対する意欲の向上も認められた。
	学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度	受講学生のうち、91%（「当てはまる」62%、「やや当てはまる」29%）が、本プログラムをこれからの社会を生きるうえで必須の教養であると認識している。 また、86%（「当てはまる」49%、「やや当てはまる」36%）の学生が、他の学生や友人にも推奨できる内容であると回答しており、本プログラムに対する満足度の高さがうかがえ、継続的な履修意欲につながっている。
	全学的な履修者数、履修率向上 に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムについては、今後の社会において必要とされる数理・データサイエンス・AIの基礎を全学生に修得させる方針を、教学マネジメント検討会議において確認した。これを踏まえ、令和7年度以降の入学生については本プログラムの履修を必須とし、1年次終了時点での修了を想定している。 また、未修得者については次年度に再履修とし、全員が確実に修得できるよう、学修支援体制の整備を進めていく。

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点		
	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは令和7年度より開設しているため、受講学生の卒業は令和10年度以降となる。これを踏まえ、令和11年度以降は、卒業生を対象としたアンケート等を実施し、企業等における評価や活躍状況の把握をキャリア支援部門と連携し努める予定である。
	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	今後は、関係する企業関係者等へのヒアリングを実施し、その結果を教学マネジメント検討会議において共有するとともに、地域連携体制の強化やカリキュラム改善に活用していく。
	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	履修者に対しては、新たな取組として、「AIを相棒にする」ことをテーマとした創造的な演習を実施する。 具体的には、数式やプログラミングコードを学ぶ前段階として、最新の生成AIを活用した課題解決型学習に取り組むとともに、画像生成AIや対話型AIを用いて、自らの発想やアイデアを具体化するプロセスを体験させる。 そのうえで、AIの出力結果の背景にある仕組み（確率・統計・データ解析等）について段階的に学び、理論と実践を往還しながら理解の深化を図る。
	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	数式や分析手法の解説直後に、SNSのトレンド予測や身近な気象データを活用した具体例を即時に提示し、学習内容と実社会との関連性を実感できる授業を展開する。 また、AIを活用して予習用の短時間動画や数理概念を視覚的に理解できる図解資料を事前に共有し、授業時間内はExcel操作やグループディスカッション等のアウトプット活動に重点を置く反転学習を導入する。 これにより、基礎理解の定着を図るとともに、学習への主体性や知的好奇心の向上を促進する。

科 目 名	情報リテラシー(基礎) 遠隔（木）（令和7年度開講）						
副 題							授業コード 304481
担 当 者	江島 尚俊						実務家教員
配当年次	1年	開講期	前期	授業形態	演習	単 位 数	2単位

科目に関するキーワード	情報モラル、eメール、レポート、MicrosoftOffice
-------------	---------------------------------

授業の概要	本授業では、インターネットの基本知識と使い方、電子メールの使い方、ワープロソフト（Word）の使い方、プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の使い方、表計算ソフト（Excel）の使い方、情報セキュリティや著作権などの知識を学びます。		
到達目標	1.情報および基礎的なコンピュータの概念を身につけることができる。 2.大学生活に必要な情報機器を活用するための知識や技術を身につけることができる。 3.インターネットや情報スキルの基礎的な知識を身につけることができる。 4.Microsoft Officeの演習を通して、レポート作成やビジネス文書などの文書作成方法、数式や関数を利用した計算とグラフ作成など表計算ソフトの利用方法、プレゼンテーション技法やソフトの活用方法などを身につけることができる。		
アクティブ・ラーニング	○	基本事項を説明したのちに練習問題を解き、授業後に必ず課題に取り組む。	
評価方法及び評価基準	レポート	授業内の課題及び諸活動への取り組み（50％）、総合演習問題等（50％）によって評価する。	
フィードバック	授業内で取り組む課題、練習問題等については、授業内で解説します。		
履修に際しての注意事項	授業では、大学PCルームのスペックに準じ、Windows版 Microsoft Office を使用して説明するが、各自保有のPC環境で受講しても問題ない。なお、Microsoft365については、在学中のライセンスが貸与されるため、Microsoft Officeを持っていないという学生は、必要に応じて別途インストール等をしておくこと。		

DCU学士力(基礎力)	
i.知識・技能	5.情報を収集することができる 6.収集した情報を整理することができる
ii.思考力	5.ある物事について想像することができる
iii.コミュニケーション力	
iv.意欲・姿勢	
v.問題解決力	2.課題を解決する方法を考えることができる

テキスト1	30時間でマスター Office2021 Windows11対応、実教出版企画開発部	9.78441E+12
テキスト2		
テキスト3		
参考文献		
参考HP		

授業計画及び事前・事後学修	
授業外に必要な学修時間	60時間

1	オリエンテーションーでんでんばん、電子メールの使い方
事前	大学情報ポータルサイト「でんでんばん」にアクセスし、シラバスを確認する。電子メール、メール作成のマナーについて理解しておくこと。(2時間)
事後	授業で説明した内容を確認し、復習しておく。(2時間)

2	情報モラルとSNS、データ・AIの活用について
事前	教科書P30～31を事前に読んでおくこと。(2時間)
事後	授業内容をもとに、情報モラルとSNSの使い方について十分に理解を深めること。(2時間)

3	Word 1：文字の入力／ページ設定・文書の印刷
---	--------------------------

事前	教科書P32～52を読み、Wordを用いた文章入力や修正方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、Wordに関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

4	Word2：文書の作成・文字の拡大縮小／表の活用・表の編集
事前	教科書P77～92を読み、Wordに関する学修内容について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、Wordの活用に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

5	Word3：画像や図形の活用
事前	教科書P77～92を読み、Wordに関する学修内容について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、Wordの活用に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

6	中間まとめ（1）
事前	教科書P32～92を読み、画像や図形の活用について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、画像や図形の活用に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

7	PowerPoint 1：プレゼンテーションの理解／ファイル保存と文字修飾・図形の活用
事前	教科書P194～209を読み、プレゼンテーションの基本/ファイル保存と文字修飾・図形の活用を確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、定着を図ること。(2時間)

8	PowerPoint2：グラフ・SmartArt・アニメーションの活用／表・画像・ワードアート
事前	教科書P210～225を読み、グラフ・SmartArt・アニメーション、表・画像・ワードアートに活用について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、定着を図ること。(2時間)

9	PowerPoint3：背景テーマの設定・スライドショーと資料作成
事前	教科書P226～238を読み、Wordに関する学修内容について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、Wordの活用に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

10	Excel 1：データ入力と編集／基本的なワークシート編集
事前	教科書P96～119を読み、表計算ソフトのデータ入力と編集方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	課題を実施・提出し、定着を図ること。(2時間)

11	Excel2：関数を使った計算式／小数点やセル参照等
事前	教科書P120～137を読み、計算式（sum, average）について確認しておくこと。(2時間)
事後	表計算ソフトの計算式に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

12	Excel3：棒グラフ／円グラフ／条件判定と順位付け
事前	教科書P144-157を読み、表計算ソフトのグラフ作成の基本について確認しておくこと。(2時間)
事後	授業内で取り扱った内容を確認し、練習問題に取り組む。(2時間)

13	Excel4：count関数
事前	count関数に関して事前に調べておき、授業内容を確認しておくこと。(2時間)
事後	授業内で取り扱った内容を確認し、練習問題に取り組む。(2時間)

14	Excel5：参照機能・条件書式・ソートの利用
事前	教科書P168～177を読み、事前確認しておくこと。(2時間)
事後	総合演習 1 の内容を振り返り、次回に活かせるよう復習しておくこと。(2時間)

15	最終課題（表計算総括）
事前	これまでの学修内容をすべて振り返っておく。(2時間)
事後	最終課題に取り組み、提出する。(2時間)

科 目 名	情報リテラシー(基礎) (令和7年度開講)						
副 題						授業コード	413421
担 当 者	番匠 一雅					実務家教員	
配当年次	1年	開講期	前期	授業形態	演習	単 位 数	2単位

科目に関するキーワード	情報モラル、eメール、レポート、MicrosoftOffice
-------------	---------------------------------

授業の概要	現代社会ではコンピュータは情報収集、整理、分析、報告のために必要不可欠な道具である。また、大学での学習活動においても十分に活用できる能力を身につけることが望まれている。情報機器を安全に利用するため、技術的な説明や基本的な使用方法を講義するとともに、身につけた知識を実践力にすべく演習を通して主体的に学ぶことを繰り返し行っていく。		
到達目標	情報および基礎的なコンピュータの概念を身につけることができ、大学生活で必要な情報機器を活用するための学内ネットワークの知識、様々なコンピュータソフトの利用方法などを知ることができる。データ・AI等の活用方法、インターネットや電子メール等のネットワーク活用方法、またそれらの安全な活用方法によるレポート作成やビジネス文書などの文書作成方法、数式や関数を利用した計算とグラフ作成など表計算ソフトの利用方法、プレゼンテーション技法やソフトの活用方法など、知識と技術を習得して利活用することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング	○	基本事項を説明したのちに練習問題を解き、授業後に必ず課題に取り組む。	
評価方法及び評価基準	レポート	授業内評価。 授業中の課題や諸活動への取り組み（20%）、授業中の作成物（30%）、レポート課題（50%）として評価する。	
フィードバック	授業内での取り組む課題、練習問題等については、授業内で解説します。最終発表課題については、授業内で、その評価およびポイントを説明します。		
履修に際しての注意事項	授業では、大学PCルームのスペックに準じ、Windows版 Microsoft Office を使用して説明するが、各自保有のPC環境で受講しても問題ない。なお、Microsoft365については、在学中のライセンスが貸与されるため、Microsoft Office を持っていないという学生は、必要に応じて別途インストール等をしておくこと。		

DCU学士力(基礎力)	
i.知識・技能	5.情報を収集することができる 6.収集した情報を整理することができる
ii.思考力	5.ある物事について想像することができる
iii.コミュニケーション力	
iv.意欲・姿勢	
v.問題解決力	2.課題を解決する方法を考えることができる

テキスト1	イチからしっかり学ぶ!Office基礎と情報モラルMicrosoft365・Office2021対応 noa出版	978-4908434792
テキスト2	は、	
テキスト3		
参考文献	北川源四郎他『教養としてのデータサイエンス』講談社サイエンティフィック 必要に応じてプリントを配付する。	
参考HP		

授業計画及び事前・事後学修	
授業外に必要な学修時間	60時間

1	オリエンテーション（授業概要、学内システムとソフトウェア、社会とDX）
事前	シラバスの内容を確認し、大学情報ポータルサイト「でんでんばん」の各項目を再確認する。(2時間)
事後	授業で説明した内容を確認し、不明な点について調べる。(2時間)

2	データ・AIの活用および情報セキュリティと情報モラル
事前	教科書P249～287を事前に読んでおくこと。(2時間)
事後	情報モラルについて十分に理解を深めること。(2時間)

3	インターネット・クラウドを活用した情報ツール
事前	事前に配布するプリントを読み、インターネット、電子メール、メール作成のマナーについて理解しておくこと。(2時間)
事後	パソコンのWebブラウザを利用してインターネット検索したり、身近な人に電子メールで近況報告するなど学んだことを利用して十分に理解を深めておくこと。(2時間)

4	文書作成1)文書作成ソフトの基礎（入力と修正）
事前	教科書P29～59を読み、文書作成ソフトを用いた文章入力や修正方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。授業内で取り扱った内容を確認し、十分に理解を深めること。(2時間)

5	文書作成2) チラシ作成(書式)
事前	教科書P60～67を読み、例題にあるチラシ作成の方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。文書作成に関する書式設定などの知識・技能の定着を図ること。(2時間)

6	文書作成3) チラシ作成(表や図形の作成)
事前	教科書P68～80を読み、文書作成ソフトで表、図形等の作成方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。文書作成ソフトの表や図形等の作成に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

7	文書作成4) レポート作成
事前	教科書P81～98を読み、例題にあるレポートを作成する方法について確認しておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。レポート作成に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

8	文書作成5) 実例を使った練習問題（図形の利用）
事前	事前に配布するプリントを読み、学んできた図の作成方法を再確認した上で完成見本の作成手順をイメージしておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。完成見本をもとに取り組んだファイルを完成させ、図形を利用した文書の作成について知識・技能の定着を図ること。(2時間)

9	文書作成6) 実例を使った練習問題（表の利用）
事前	事前に配布するプリントを読み、学んできた表の作成方法を再確認した上で完成見本の作成手順をイメージしておくこと。(2時間)
事後	目標を定め、キーボードの入力練習を行うこと。完成見本をもとに取り組んだファイルを完成させ、表を利用した文書の作成について知識・技能の定着を図ること。(2時間)

10	プレゼンテーション1) プレゼンテーションの基本について
事前	教科書P177～189を読み、プレゼンテーションの基本を確認しておくこと。(2時間)
事後	プレゼンテーションに関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

11	プレゼンテーション2) スライド作成、書式と図表
事前	教科書P191～221を読み、プレゼンテーションソフトの操作方法を確認しておくこと。(2時間)
事後	プレゼンテーションソフトの書式や図表等に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

12	プレゼンテーション3) 効果と発表準備
事前	教科書P222～248を読み、プレゼンテーションソフトの効果や発表の方法について確認しておくこと。(2間)
事後	プレゼンテーション（発表）に関する知識・技能の定着を図ること。(2時間)

13	総合演習問題1（データ収集・加工とAI）
事前	授受で紹介したAIツールの使い方を復習しておくこと。(2時間)
事後	総合演習問題1の内容を振り返り、次回に活かせるよう復習しておくこと。(2時間)

14	総合演習問題2（データ分析とAI）
事前	前回の総合演習問題1の内容を振り返り、まとめておくこと。(2時間)
事後	総合演習問題2の内容を振り返り、次回に活かせるよう復習しておくこと。(2時間)

15	総合演習問題3（ビジネス文書およびレポート作成とAI）
事前	今までの授業内容を再度確認し、弱点を克服しておくこと。(2時間)
事後	授業内容を振り返り、まとめておくこと。(2時間)

科 目 名	情報リテラシー(応用) 遠隔（木）（令和7年度開講）						
副 題						授業コード	304482
担 当 者	江島 尚俊					実務家教員	
配当年次	1年	開講期	後期	授業形態	演習	単 位 数	2単位

科目に関するキーワード	データサイエンス、統計、数理、AI、Excel
-------------	-------------------------

授業の概要	本講義では、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルに準拠した内容となっている。 まずは、データサイエンス、統計学、プログラミング、AIなどの基礎的知識を学修する。次に、それらの知識を活用し、実社会の課題を解決するための実践的な演習も行う。 具体的には、Excelを用いた統計データ資料の作成、度数分布表やヒストグラム、散布図、クロス集計などの方法を実践的に学修する。 この授業を通して、データに基づいた問題解決能力、論理的思考力、さらにはAI技術に関する理解を深め、将来のキャリアに役立つ実践的なスキルを身につけることを目指していく。		
到達目標	1. 数理・データサイエンス・AIの基礎知識を身につける。 2. Excelを活用したデータ収集・分析・可視化の方法を学修し、データに基づいた意思決定ができるようになる。 3. 問題解決能力: 実際の社会課題に対して、数理・データサイエンス・AIの知識を活用し、解決策を提案・実装できるようになる。		
アクティブ・ラーニング	○	毎回の授業で演習課題に取り組み、その課題を提出する。課題に対しては、教員がレスポンスを行う。	
評価方法及び評価基準	レポート	授業内の課題及び諸活動への取り組み (50%)、総合演習問題等 (50%) によって評価する。	
フィードバック	授業動画内でフィードバックを行う。		
履修に際しての注意事項			

DCU学士力(基礎力)	
i.知識・技能	5.情報を収集することができる 6.収集した情報を整理することができる
ii.思考力	5.ある物事について想像することができる
iii.コミュニケーション力	
iv.意欲・姿勢	
v.問題解決力	2.課題を解決する方法を考えることができる

テキスト1	吉岡剛志編著『基礎学習AIデータサイエンスリテラシー入門』技術評論社（2024年版）	9784297130428
テキスト2		
テキスト3		
参考文献		
参考HP		

授業計画及び事前・事後学修	
授業外に必要な学修時間	
60時間	

1	社会におけるデータ・AI活用①
事前	テキストpp.8-20を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。また、身の回りにおけるデータ活用やAI利用について調べておく。(2時間)

2	社会におけるデータ・AI活用②
事前	テキストpp.21-37を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。データ・AI活用の最新動向についてまとめておく。(2時間)

3	Excelの基本的な操作方法
事前	テキストpp.38-54を読んでおく。(2時間)

事後	課題を提出する。情報リテラシー（基礎）の内容をふりかえておく。(2時間)
----	--------------------------------------

4	時系列データの可視化
事前	テキストpp.72-83を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。平均算出の方法と可視化についてふりかえておく。(2時間)

5	平均の算出とその可視化
事前	テキストpp.72-83を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。平均算出の方法と可視化についてふりかえておく。(2時間)

6	標準偏差の算出とその可視化
事前	テキストpp.84-97を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。標準偏差の算出とその可視化についてふりかえておく。(2時間)

7	中間まとめ①
事前	テキストpp.38-97を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。第3～6回の授業内容をふりかえておく。(2時間)

8	大量のデータを扱う方法
事前	テキストpp.98-113を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。ビッグデータの扱い方についてふりかえておく。(2時間)

9	基本統計量の算出と箱ひげ図
事前	テキストpp.114-128を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。基本統計量と箱ひげ図についてふりかえておく。(2時間)

10	度数分布表とヒストグラムの作成
事前	テキストpp.129-141を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。度数分布表とヒストグラムについてふりかえておく。(2時間)

11	中間まとめ②
事前	テキストpp.98-141を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。第8～10回の授業内容をふりかえておく。(2時間)

12	散布図の作成と相関係数の算出
事前	テキストpp.142-154を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。散布図の作成と相関係数の算出についてふりかえておく。(2時間)

13	定性データの扱い方とクロス集計
事前	テキストpp.155-165を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。定性データの扱い方とクロス集計についてふりかえておく。(2時間)

14	データ・AI活用における留意事項
事前	テキストpp.166-172を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。データ・AI活用における留意事項についてふりかえておく。(2時間)

15	最終課題
事前	これまでの学修内容をすべて振り返っておく。(2時間)
事後	最終課題に取り組み、提出する。(2時間)

科 目 名	情報リテラシー(応用) 遠隔（木）（令和7年度開講）						
副 題						授業コード	413482
担 当 者	番匠 一雅					実務家教員	
配当年次	1年	開講期	後期	授業形態	演習	単 位 数	2単位

科目に関するキーワード	データサイエンス、統計、数理、AI、Excel
-------------	-------------------------

授業の概要	本講義では、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルに準拠した内容となっている。 まずは、データサイエンス、統計学、プログラミング、AIなどの基礎的知識を学修する。次に、それらの知識を活用し、実社会の課題を解決するための実践的な演習も行う。 具体的には、Excelを用いた統計データ資料の作成、度数分布表やヒストグラム、散布図、クロス集計などの方法を実践的に学修する。 この授業を通して、データに基づいた問題解決能力、論理的思考力、さらにはAI技術に関する理解を深め、将来のキャリアに役立つ実践的なスキルを身につけることを目指していく。		
到達目標	1. 数理・データサイエンス・AIの基礎知識を身につける。 2. Excelを活用したデータ収集・分析・可視化の方法を学修し、データに基づいた意思決定ができるようになる。 3. 問題解決能力: 実際の社会課題に対して、数理・データサイエンス・AIの知識を活用し、解決策を提案・実装できるようになる。		
アクティブ・ラーニング	○	毎回の授業で演習課題に取り組み、その課題を提出する。課題に対しては、教員がレスポンスを行う。	
評価方法及び評価基準	レポート	授業内の課題及び諸活動への取り組み (40%)、総合演習問題等 (60%) によって評価する。	
フィードバック	授業動画内でフィードバックを行う。		
履修に際しての注意事項	Excelを利活用した授業内容であるので、必ずパソコンを使って課題に取り組むこと。スマートフォンやタブレットなどでは、授業内容・課題に対応できない可能性がある。		

DCU学士力(基礎力)	
i.知識・技能	5.情報を収集することができる 6.収集した情報を整理することができる
ii.思考力	5.ある物事について想像することができる
iii.コミュニケーション力	
iv.意欲・姿勢	
v.問題解決力	2.課題を解決する方法を考えることができる

テキスト1	吉岡剛志編著『基礎学習AIデータサイエンスリテラシー入門』技術評論社（2024年版）	9.7843E+12
テキスト2		
テキスト3		
参考文献		
参考HP		

授業計画及び事前・事後学修	
授業外に必要な学修時間	60時間

1	社会におけるデータ・AI活用①
事前	テキストpp.8-20を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。また、身の回りにおけるデータ活用やAI利用について調べておく。(2時間)

2	社会におけるデータ・AI活用②
事前	テキストpp.21-37を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。データ・AI活用の最新動向についてまとめておく。(2時間)

3	Excelの基本的な操作方法
事前	テキストpp.38-54を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。情報リテラシー（基礎）の内容をふりかえっておく。(2時間)

4	時系列データの可視化
事前	テキストpp.55-69を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。時系列データの作成・活用についてふりかえておく。(2時間)

5	平均の算出とその可視化
事前	テキストpp.84-97を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。標準偏差の算出とその可視化についてふりかえておく。(2時間)

6	標準偏差の算出とその可視化
事前	テキストpp.84-97を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。標準偏差の算出とその可視化についてふりかえておく。(2時間)

7	中間まとめ①
事前	テキストpp.38-97を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。第3～6回の授業内容をふりかえておく。(2時間)

8	大量のデータを扱う方法
事前	テキストpp.98-113を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。ビッグデータの扱い方についてふりかえておく。(2時間)

9	基本統計量の算出と箱ひげ図
事前	テキストpp.114-128を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。基本統計量と箱ひげ図についてふりかえておく。(2時間)

10	度数分布表とヒストグラムの作成
事前	テキストpp.129-141を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。度数分布表とヒストグラムについてふりかえておく。(2時間)

11	中間まとめ②
事前	テキストpp.98-141を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。第8～10回の授業内容をふりかえておく。(2時間)

12	散布図の作成と相関係数の算出
事前	テキストpp.142-154を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。散布図の作成と相関係数の算出についてふりかえておく。(2時間)

13	定性データの扱い方とクロス集計
事前	テキストpp.155-165を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。定性データの扱い方とクロス集計についてふりかえておく。(2時間)

14	データ・AI利活用における留意事項
事前	テキストpp.166-172を読んでおく。(2時間)
事後	課題を提出する。データ・AI利活用における留意事項についてふりかえておく。(2時間)

15	最終課題
事前	これまでの学修内容をすべて振り返っておく。(2時間)
事後	最終課題に取り組み、提出する。(2時間)

社会福祉学科 社会福祉専攻

(1) 社会福祉学科の概要

社会福祉学科では、人の誕生から死まで福祉や介護を必要とする方々の自立と自己実現をサポートし、また、人の幸せを実現する社会づくりのために働く専門職を育成する。現代社会は個人の価値観が多様化し、社会環境も大きく変化している。専門職として、個々の人々がおかれた状況について深く理解し、多様な福祉ニーズに柔軟に対応できる福祉の担い手を育てることを目指している。

将来において、福祉のみでなく保健・医療・教育などの多様な分野において対人援助からマネジメントまでの幅広い実践を行うために、基礎教養を学び、豊かな人間性を養い、福祉の基本理念や制度・政策などに関する多様な知識と専門技術を習得し、専門職としての総合的力量を養う。

本学科は「社会福祉専攻」と「介護福祉専攻」の2専攻を置き、社会福祉専攻では全学生が社会福祉士の国家試験受験資格取得を、希望者が精神保健福祉士の国家試験受験資格取得を目指す。介護福祉専攻では全学生が社会福祉士の国家試験受験資格取得および介護福祉士の国家試験受験資格取得を目指す。また、両専攻とも希望者がピアヘルパーの受験資格を取得することができる。

〈専攻説明〉

◎社会福祉専攻

ソーシャルワーク専門職として、社会福祉士の国家試験受験資格取得を目指すとともに、学生一人ひとりが将来選択したい領域について学びを深め、その分野の専門性を高めることを教育目標とする。そのために、以下の3コースが設定され、各コースには推奨する科目が用意されている。学生は3年生になる時点で、各コースを担当する教員のゼミナールを選択する。どのコースを選択しても、希望する学生は精神保健福祉士の国家試験受験資格取得を目指すことができる。

児童・障害者・高齢者相談支援コース

社会福祉士として、児童・障害者から高齢者まで、人の一生に関わる相談支援をしたいという志望者に向けたコース。

児童・家庭福祉、スクールソーシャルワーク、障害者福祉、高齢者福祉、成年後見などの学びを深め、支援者としての資質、実践力を高める。

卒業後は、高い専門性を持った社会福祉士として、児童福祉施設、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、福祉関連企業、公的機関、教育機関などで働くことを目指す。

医療・精神保健相談支援コース

社会福祉士資格をベースに、病院等で働く医療ソーシャルワーカーや精神保健福祉分野のソーシャルワーカーをはじめ、「保健医療分野に強いソーシャルワーカー」を育成するコース。

医療福祉などを基盤に、精神障害リハビリテーション、精神保健など精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための専門分野を学ぶとともに、社会福祉と保健医療とのかかわりに関する学びを深め、実践力を身につける。

卒業後は医療ソーシャルワーカーとして、または、精神保健福祉士として、一般病院、精神科病院、リハビリテーション機関、精神保健福祉関係機関（公的機関含む）で働くことを目指す。

地域デザイン・福祉マネジメントコース

社会福祉士として、地域デザインや福祉施設におけるマネジメント（管理・運営）を学びたい、福祉行政（福祉職公務員）に携わりたい、福祉関係の起業・運営をしたい、企業の福祉分野で働きたいという志望者に向けたコース。

地域福祉、福祉計画、災害福祉、福祉経営、福祉工学、福祉情報などの専門分野を学び、福祉マネジメントや福祉行政に携わる人材としての資質を高める。

卒業後は、高い専門性を持った社会福祉士として、国および地方の福祉行政や社会福祉協議会の福祉計画、福祉施設の管理・運営などに携わることを目指す。また、企業の福祉部門における活躍や社会福祉法人ならびにNPO法人の起業・運営も期待されている。

(2) 卒業に必要な単位数と授業科目

科目区分	履修区分	単位数
総合教育科目	必修	16単位
	選択	10単位以上
	小計	26単位以上
専門基礎科目	必修	38単位
	選択	12単位以上
	小計	50単位以上
専門発展科目	必修	18単位
	選択	20単位以上
	小計	38単位以上
(自由選択履修) 各科目区分の要件を超えて修得した単位 (余剰単位) および他学部他学科開講科目 から修得した単位		10単位以上
合 計		124単位以上

(カリキュラム・マップ: 卒業認定・学位授与方針に基づく「課程修了時の資質・能力」と各授業科目との関係を表す)

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

社会福祉学科社会福祉専攻 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※1	資格 ※2					DCU 学士力（基礎力）※3					DCU 学士力（専門性）※4										備考			
								社会福祉士	精神保健福祉士	スクールソーシャルワーカー	社会福祉主任任用	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	社会問題への関心	多様性への理解と包括的な視点	権利擁護	ネットワーク	連携協働と地域での実践	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	多様なソーシャルワーク	福祉デザイン				
																													1	2	3
専門基礎科目	福祉マインド実践講座	必修	1	通年	2	演習								○	◎	○	●			●										必修 38 単位 選択 12 単位 以上 (単位認定科目)	
	高齢者福祉論	必修	1	前期	2	講義	●			●				○			◎		●			●									
	障害者福祉論	必修	1	前期	2	講義	●	●						◎		○			●				●								
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	必修	1	前期	2	講義	●	●						○	◎		○	●	●									●			
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	必修	1	後期	2	講義	●	●							◎	○	○					●	●					●			
	公的扶助論	必修	1	後期	2	講義	●		●					○	○			◎		●		●									
	児童・家庭福祉論	必修	1	後期	2	講義	●		●	●					◎	◎			●		●	●					●				
	医学概論	必修	2	前期	2	講義	●	●						◎		○	○				●			●	●						
	社会保障論Ⅰ	必修	2	前期	2	講義	●	●						○		○		◎		●									●		
	地域福祉論Ⅰ	必修	2	前期	2	講義	●	●						◎				◎		●		●									
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	必修	2	後期	2	講義	●	●						○	◎	○			●										●		
	ソーシャルワークの理論と方法(専門Ⅰ)	必修	2	後期	2	講義	●							○	○	○	○				●		●					●			
	キャリア講座	必修	3	通年	2	演習											○	◎	●			●	●								
	保健医療と福祉	必修	3	前期	2	講義	●							◎	○	○				●	●								●		
	ソーシャルワークの基盤と専門職	必修	3	前期	2	講義	●	●						○	◎		○			●									●		
	社会調査法	必修	3	前期	2	講義	●	●						○	◎			○											●		
	司法福祉論	必修	3	前期	2	講義	●	●							◎			◎											●		
	福祉サービスの組織と経営	必修	3	後期	2	講義	●								◎		○	○			●								●		
	権利擁護を支える法制度	必修	3	後期	2	講義	●	●						◎	◎				●		●		●								
	生活福祉工学Ⅰ	選択	1	後期	2	講義	○							○	◎		○		●	●									●		
	教育社会学	選択	2	前期	2	講義	○		●					◎		○	○	○	●	●	●							●			
	カウンセリング	選択	2	前期	2	講義					●				◎	○	○	○	●	●											
	社会福祉情報論	選択	2	前期	2	講義	○							◎				◎			●								●		
	精神医学Ⅰ	選択	2	前期	2	講義			●					○		○	○	○	●	●								●			
	精神保健福祉の原理Ⅰ	選択	2	前期	2	講義			●						◎	○	○		●		●		●								
	ソーシャルワーク演習	選択	2	前期	2	演習		●							◎	○		○	○	●	●							●			
	生活福祉工学Ⅱ	選択	2	前期	2	演習	○								◎		○	○	○	●	●								●		
	発達心理学	選択	2	後期	2	講義				●		●			○	○		◎		●					●	●	●				
	精神医学Ⅱ	選択	2	後期	2	講義			●					○		○	◎		●	●									●		
	精神保健福祉の原理Ⅱ	選択	2	後期	2	講義			●						○	○	○	○		●	●	●									
	ソーシャルワーク演習(専門Ⅰ)	選択	2	後期	2	演習		●								◎	○	○		●			●					●			
	精神保健学Ⅰ	選択	3	前期	2	講義	○		●	●				○	○		○	○	○	●	●										
	介護福祉論	選択	3	前期	1	講義									○				○		●		●	●							
	精神保健学Ⅱ	選択	3	後期	2	講義	○		●	●					○	○		○	○	○	●	●							●		
	地域探究Ⅴ(地域課題の理解と解決法)	選択	3	集中	2	演習									○	○		◎													

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：資格を取得するための必修科目。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

社会福祉学科社会福祉専攻 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※1	資格 ※2					DCU 学士力 (基礎力) ※3					DCU 学士力 (専門性) ※4										備 考		
								社会福祉士	精神保健福祉士	スクールソーシャルワーカー	社会福祉主事任用	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	社会問題への関心	多様な視点と包括的な視点	権利擁護とネットワーク	地域での実践	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	多様なソーシャルワーク	福祉デザイン				
																											1		2	3
専門発展科目	社会保障論Ⅱ	必修	2	後期	2	講義		●	●					○	○	○	○	●										●	必修 18 単位 選択 20 単位 以上	
	地域福祉論Ⅱ	必修	2	後期	2	講義		●	●							○	○											●		●
	専門演習Ⅰ	必修	3	通年	4	演習								◎	◎	○	◎		●											
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	必修	3	前期	2	講義		●	●					○	○				●											●
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	必修	3	後期	2	講義		●						○	○	○	○					●	●					●		
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	必修	3	後期	2	講義		●						○	◎		○			●	●							●		
	専門演習Ⅱ	必修	4	通年	4	演習								◎	◎	○	○	◎	●											
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	選択	2	前期	2	演習		●								◎	◎						●	●	●	●	●	●		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	選択	2	後期	2	演習		●								◎	◎						●	●	●	●	●	●		
	福祉とICT	選択	2	後期	2	演習	○							○		○	○		●	●										●
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	選択	3	通年	4	演習		●						◎	◎	◎	○					●	●	●	●	●	●	●		
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	選択	3	通年	4	演習			●					○	◎	◎	◎	○		●		●								●
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	選択	3	通年	4	演習			●					◎	◎	◎	◎	○		●		●								●
	精神保健福祉制度論	選択	3	前期	2	講義			●					◎	○			○		●	●					●				
	精神保健福祉援助論Ⅰ	選択	3	前期	2	講義			●					○	○			○		●		●								●
	スクールソーシャルワーク論	選択	3	前期	2	講義	○			●				○		○	○	○	○	●		●	●					●		●
	福祉情報マネジメント論	選択	3	前期	2	講義	○							○	○		◎		●			●								
	災害福祉論	選択	3	前期	2	講義	○							○	○		○	○				●								●
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	選択	3	前期	2	演習		●						◎			○	○				●	●							●
	スクールソーシャルワーク演習	選択	3	前期	2	演習				●					○	○		◎	●		●	●					●	●		
	精神障害リハビリテーション論	選択	3	後期	2	講義	○		●					○	○		○	○		●		●								●
	精神保健福祉援助論Ⅱ	選択	3	後期	2	講義			●					○	○		○	○		●		●								●
	医療福祉論	選択	3	後期	2	講義	○							○	○		◎	●			●									●
	発達障害福祉論	選択	3	後期	2	講義	○								○	○	○	○		●						●				
	起業経営論	選択	3	後期	2	講義	○								◎			○	●			●								●
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	選択	3	後期	2	演習		●								◎		◎	●		●									●
	社会福祉総合演習	選択	4	通年	2	演習									◎			○						●	●	●	●	●		
	社会福祉総合講座Ⅰ	選択	4	前期	2	講義											◎	◎						●	●	●	●	●		
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	選択	4	前期	2	演習		●									◎				●	●								●
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	選択	4	前期	2	演習			●						○	○	○	○		●		●								●
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	選択	4	前期	2	演習			●						○	○	○	○		●		●								●
	医療ソーシャルワーク実習指導	選択	4	前期	2	演習									◎	○		○		●	●	●								●
	スクールソーシャルワーク実習指導	選択	4	前期	2	演習			●								○	◎	◎		●	●								●
	社会福祉総合講座Ⅱ	選択	4	後期	2	講義											◎	◎						●	●	●	●	●		
	地域探究Ⅶ(地域イノベーション実践)	選択	4	集中	2	演習									○	○		◎												
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	選択	2	集中	2	実習		●							○	◎	○					●	●	●	●	●	●	●		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	選択	3	集中	6	実習		●							○	◎	◎	◎	◎				●	●	●	●	●	●		
	精神保健福祉援助実習Ⅰ	選択	3	集中	3	実習			●						○	○	◎	○	○		●		●							●
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	選択	3	集中	3	実習			●						○	○	◎	○	○			●	●							●
	医療ソーシャルワーク実習	選択	4	集中	2	実習									○	○		◎		●		●								●
	スクールソーシャルワーク実習	選択	4	集中	2	実習			●						○			◎	◎		●	●								●
	卒業研究	選択	4	集中	4	－									◎	◎	○	○	○	●										

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目(子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●: 資格を取得するための必修科目。

※3 ◎: 課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

社会福祉学科 介護福祉専攻

(1) 社会福祉学科の概要

社会福祉学科では、人の誕生から死まで福祉や介護を必要とする方々の自立と自己実現をサポートし、また、人の幸せを実現する社会づくりのために働く専門職を育成する。現代社会は個人の価値観が多様化し、社会環境も大きく変化している。専門職として、個々の人々がおかれた状況について深く理解し、多様な福祉ニーズに柔軟に対応できる福祉の担い手を育てることを目指している。

将来において、福祉のみでなく保健・医療・教育などの多様な分野において対人援助からマネジメントまでの幅広い実践を行うために、基礎教養を学び、豊かな人間性を養い、福祉の基本理念や制度・政策などに関する多様な知識と専門技術を習得し、専門職としての総合的力量を養う。

本学科は「社会福祉専攻」と「介護福祉専攻」の2専攻を置き、社会福祉専攻では全学生が社会福祉士の国家試験受験資格取得を、希望者が精神保健福祉士の国家試験受験資格取得を目指す。介護福祉専攻では希望者が社会福祉士の国家試験受験資格取得および介護福祉士の国家試験受験資格取得を目指す。また、両専攻ともピアヘルパーの受験資格を取得することができる。

〈専攻説明〉

◎介護福祉専攻

介護福祉専攻では、21世紀の介護と福祉に必要な専門的知識と技術を総合的に修得し、さまざまな福祉分野で核となって活躍できる人間性豊かで実践力のある人材を育成することを目的とする。

(2) 卒業に必要な単位数と授業科目

科目区分	履修区分	単位数
総合教育科目	必修	14単位
	選択	4単位以上
	小計	18単位以上
専門基礎科目	必修	44単位
	選択	16単位以上
	小計	60単位以上
専門発展科目	必修	14単位
	選択	22単位以上
	小計	36単位以上
(自由選択履修) 各科目区分の要件を超えて修得した単位 (余剰単位) および他学部他学科開講科目 から修得した単位		10単位以上
合 計		124単位以上

社会福祉学科介護福祉専攻 開設授業科目

(カリキュラム・マップ：卒業認定・学位授与方針に基づく「課程修了時の資質・能力」と各授業科目との関係を表す)

区分		授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開 講 期	単 位	授業 形態	他 学 科 履 修 ※ 1	資格 ※2					DCU 学士力 (基礎力) ※3					DCU 学士力 (専門性) ※4										備考					
									介護福祉士	社会福祉士	社会福祉士主任任用	アクティビティ・ワーカー	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	生活支援 (自立・自律)	こころとからだ	生活環境	多職種連携	アクティビティ	チームマネジメント	高齢者福祉	障害者福祉	ソーシャルワーク	児童・家庭福祉						
																														1	2	3	4	5
総合教育科目	人間	心理学	必修	1	前期	2	講義		●	●	●				○	○	○																	必修 14 単位 選択 4 単位 以上 (単位認定科目) (単位認定科目)
		倫理学	選択	1	前期	2	講義		●					○	○																			
		美術概論	選択	1	後期	2	講義							○	○	○																		
		文学入門	選択	1	後期	2	講義							○		○	○																	
		日本文化体験	選択	1	後期	2	演習							○			○	○																
	社会	日本国憲法	選択	1	前期	2	講義							○	○	○	○																	
		経済学	選択	1	前期	2	講義							○	○	○			○															
		世界史	選択	1	前期	2	講義							○	○	○			○															
		政治学	選択	1	後期	2	講義							○	○	○			○	○														
		日本史	選択	1	後期	2	講義											○	○															
	自然	社会学	選択	2	前期	2	講義			●				○	○																			
		数学入門	選択	1	前期	2	講義							○	○			○	○															
		人間と環境	選択	1	前期	2	講義							○	○				○															
		生活科学	選択	1	前期	2	講義							○	○	○	○																	
		生命科学	選択	1	後期	2	講義							○	○	○			○															
	言語	英語	選択	1	前期	2	演習									○	○		○	○														
		韓国語(基礎)	選択	1	前期	2	演習							○		○	○																	
		中国語(基礎)	選択	1	前期	2	演習							○		○	○																	
		手話(基礎)	選択	1	前期	2	演習							○		○	○																	
		韓国語(応用)	選択	1	後期	2	演習							○		○	○			○														
		中国語(応用)	選択	1	後期	2	演習							○		○	○																	
		手話(応用)	選択	1	後期	2	演習									○	○		○	○														
		英語コミュニケーション	選択	2	前期	2	演習							○	○	○																		
	スポ ー ツ	スポーツ	選択	1	前期	2	講義											○	○	○	○													
		福祉とスポーツ	選択	1	後期	2	講義									○	○	○	○	○														
		スポーツ・コミュニケーション	選択	1	後期	2	演習							○			○	○																
	学 び の 基 礎	基礎演習I	必修	1	通年	2	演習							○	○			○																
		日本語表現法(基礎)	必修	1	前期	2	演習							○	○				○															
		情報リテラシー(基礎)	必修	1	前期	2	演習							○	○				○															
		日本語表現法(応用)	必修	1	後期	2	演習							○		○			○															
		情報リテラシー(応用)	必修	1	後期	2	演習							○	○				○															
		基礎演習II	必修	2	通年	2	演習							○		○			○															
		実用日本語表現法	選択	2	前期	2	演習							○				○	○															
		社会福祉入門	選択	1	集中	2	演習									○		○																
		海外研修	選択	1	集中	2	演習									○	○		○															
	探 究	地域探究I(課題とニーズ)	選択	1	前期	2	演習								○			○	○															
		地域探究II(知識とスキル)	選択	1	後期	2	演習							○					○															
		地域探究III(フィールドワークA)	選択	2	前期	2	演習							○					○															
		地域探究IV(フィールドワークB)	選択	2	後期	2	演習								○	○			○															

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目 (子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

※3 ○：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

社会福祉学科介護福祉専攻 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・選 択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※ 1	資格 ※2					DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※4										備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
								介護福祉士	社会福祉士	社会福祉主事任用 アクティビティ・ワーカー	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	生活支援 (自立・自律)	「こころ」から見た	生活環境	多職種連携	アクティビティ	チームマネジメント	高齢者福祉	障害者福祉	ソーシャルワーク	児童・家庭福祉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
専門基礎科目	福祉マインド実践講座	必修	1	通年	2	演習								○	◎	○					●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目(子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●: 該当する資格を取得するための必修科目。

※3 ◎: 課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

(単位認定科目)

必修
44 単位
選択
16 単位
以上

社会福祉学科介護福祉専攻 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※ 1	資格 ※2					DCU 学士力 (基礎力) ※3					DCU 学士力 (専門性) ※4										備 考									
								介護福祉士	社会福祉士	社会福祉士主任任用	アクティビティ・ワーカー	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	生活支援 (自立・自律)	こころとからだ	生活環境	多職種連携	アクティビティ	チームマネジメント	高齢者福祉	障害者福祉	ソーシャルワーク	児童・家庭福祉										
																													1	2	3	4	5	1	2	3	4
専門発展科目	認知症ケア論	必修	2	前期	2	講義	○	●					◎	○		○		●				●															
	社会保障論Ⅱ	必修	2	後期	2	講義		●	●					○	○	○	○					●							●								
	専門演習Ⅰ	必修	3	通年	4	演習							◎	◎	○	○	◎																				
	専門演習Ⅱ	必修	4	通年	4	演習							○	◎	○	○	◎																				
	老年心理学	必修	4	前期	2	講義		●						○	○	○	○						●														
	コミュニケーション技術Ⅱ	選択	1	後期	2	演習		●							◎	○							●	●													
	自立に向けた生活環境Ⅰ	選択	2	前期	2	演習		●						◎	○		○	●		●																	
	介護総合演習Ⅱ	選択	2	前期	2	演習		●							○	◎																					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	選択	2	前期	2	演習			●						◎	◎																					
	こころとからだのしくみⅡ	選択	2	後期	2	講義	○	●						○	○		◎		●																		
	地域福祉論Ⅱ	選択	2	後期	2	講義			●																												
	介護過程の展開Ⅰ	選択	2	後期	2	演習		●					○		○		◎					●															
	自立に向けた生活環境Ⅱ	選択	2	後期	2	演習		●						◎	○		○	●		●																	
	介護総合演習Ⅲ	選択	2	後期	2	演習		●										◎				●															
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	選択	2	後期	2	演習			●								◎	◎																			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	選択	3	通年	4	演習			●					◎	◎	◎	○																				
	医療的ケアⅠ*	選択	3	前期	2	講義 演習		●						○	◎	○				●																	
	こころとからだのしくみⅢ	選択	3	前期	2	講義	○	●						○	○	○		○		●																	
	リハビリテーション論	選択	3	前期	2	講義	○	●						○	○	○		○		●																	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	3	前期	2	講義			●					○	◎																						
	障害に応じた介護Ⅱ	選択	3	前期	2	演習		●						○	○	○	○	○	●	●																	
	介護過程の展開Ⅱ	選択	3	前期	2	演習		●						○				◎				●															
	自立に向けた家事の介護Ⅰ	選択	3	前期	2	演習		●						◎	○		○	●		●																	
	介護総合演習Ⅳ	選択	3	前期	2	演習		●								○		◎				●															
	ソーシャルワーク演習 (専門)Ⅱ	選択	3	前期	2	演習			●					◎			○	○				●															
	医療的ケアⅡ*	選択	3	後期	2	講義 演習		●								○	◎	○		●																	
	チームマネジメント論	選択	3	後期	2	講義	○	●								○		◎				●															
	ソーシャルワークの理論と方法 (専門)Ⅱ	選択	3	後期	2	講義			●					○	○	○	○					●															
	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	選択	3	後期	2	講義			●					○	◎		○					●															
	介護福祉学総合講座Ⅰ	選択	3	後期	2	講義								○	○	○		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	介護過程の展開Ⅲ	選択	3	後期	2	演習		●						○				◎				●															
	自立に向けた家事の介護Ⅱ	選択	3	後期	2	演習		●						◎	○		○	○	●		●																
	ソーシャルワーク演習 (専門)Ⅲ	選択	3	後期	2	演習			●									◎				●															
	社会福祉総合演習	選択	4	通年	2	演習									◎			○	●	●		●															
	医療的ケアⅢ*	選択	4	前期	2	講義 演習		●						○		◎	○		●																		
	ケアマネジメント論	選択	4	前期	2	講義	○	●							○	○		◎				●															
介護福祉学総合講座Ⅱ	選択	4	前期	2	講義								○	○	○		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
社会福祉総合講座Ⅰ	選択	4	前期	2	講義												◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ソーシャルワーク演習 (専門)Ⅳ	選択	4	前期	2	演習			●									◎				●																
社会福祉総合講座Ⅱ	選択	4	後期	2	講義												◎	◎	●	●		●															
地域探究Ⅵ (地域イノベーション実践)	選択	4	集中	2	演習									○	○		◎																				
介護実習Ⅱ	選択	2	集中	5	実習		●						○	○	◎	◎	◎				●	●															
介護実習Ⅲ	選択	2	集中	6	実習		●							◎	◎	◎	◎				●	●															
ソーシャルワーク実習Ⅰ	選択	2	集中	2	実習			●						◎	◎	◎	◎				●																
ソーシャルワーク実習Ⅱ	選択	3	集中	6	実習			●					○	◎	◎	◎	◎				●																
卒業研究	選択	4	集中	4	一								○	◎	○		◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

* 「医療的ケアⅠ」、「医療的ケアⅡ」、「医療的ケアⅢ」の講義時間数は、実時間であわせて50時間とする。

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

共生社会学科

(1) 共生社会学科の概要

地域社会、学校等における様々な福祉問題や支援のニーズに取り組んでいくためには、地域の福祉機関や関係者との連携ができ、心理学的スキルを兼ね備えた社会福祉の専門職としての素養を持った人材が求められる。このことを踏まえ、共生社会学科では、地域における支援の体制を構築していくにあたり、その核となる「社会福祉の専門性」と「心理の専門性」を身につけ、その強みを活かして幅広い福祉・教育分野に貢献できる人材を育成する。

本学科の学修過程の目指すところは下記の通りである。

〈1～2年次〉

総合教育科目及び専門基礎科目を中心に履修し、特に総合教育科目においては、初年次教育として配置する授業科目を履修し、高等学校から大学への円滑な移行を図り、人間理解を基礎として主体的に学ぶ姿勢と在学中の学習効果を高めるためのスキルを習得する。また、地域貢献活動等を取り入れた授業科目により、実践学修を通じて共生マインドを身につける。

〈2～3年次〉

主に社会福祉、心理、教育の領域に関連する様々な分野の知識を蓄え、実践的な課題発見・課題解決能力の習得を目指す。また、演習や実習を通じて共感性をもったコミュニケーション能力を育み、課題解決に際して他者と連携・協働する能力を身につける。

〈3～4年次〉

専門発展科目を中心に履修し、卒業後の進路を意識し、明確な目標をもって各自の専門性を高めるとともに、状況に応じたアセスメント能力、個別のニーズに応じた支援計画もしくは指導計画を作成する能力を含む、相談援助もしくは特別支援教育の実践のための総合的な能力の習得を目指す。

(2) 卒業に必要な単位数と授業科目

科目区分	履修区分	単位数
総合教育科目	必修	14単位
	選択	12単位以上
	小計	26単位以上
専門基礎科目	必修	18単位
	選択	26単位以上
	小計	44単位以上
専門発展科目	必修	6単位
	選択	38単位以上
	小計	44単位以上
(自由選択履修) 各科目区分の要件を超えて修得した単位 (余剰単位)および他学部他学科開講科目 から修得した単位		10単位以上
合 計		124単位以上

(3) 専門演習Ⅰ・Ⅱ

学科専任教員による少人数クラスで、専門的な指導を受けることにより、自らの関心に沿った研究・学習を深めることを目的とする。

心理、福祉、教育等で関心を深めたい分野の学習を進め、発表や議論を重ねて、卒業研究に集大成することを望む。

(4) 卒業研究

大学教育では、自らの問題意識に基づき主体的に真理を究めて行くことが求められている。学びの過程で気付いた問題を専門的に探求していくこととして卒業研究が設定されている。

専門演習Ⅰ・Ⅱ担当の教員を中心として、どのような方法で、文献、資料、データ収集をし、分析を進めていくのか、論理的な論文としていくのか等の指導を受けながら卒業研究を完成させる。

共生社会学科 開設授業科目

(カリキュラム・マップ：卒業認定・学位授与方針に基づく「課程修了時の資質・能力」と各授業科目との関係を表す)

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	他学科履修 ※1	資格 ※ 2										DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考			
								社会福祉士	社会福祉士主任任用	中学校教諭一種免許 (社会)	高等学校教諭一種免許 (公民)	高等学校教諭一種免許 (福祉)	特別支援学校教諭	准学校心理士	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	共生社会の理念	多様性の尊重	異文化理解	多職種連携	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	心理支援技法の獲得	インクルーシブ教育	特別支援教育						
総合教育科目	人間	心理学	必修	1	前期	2	講義	●	●	●							○		○															必修 14 単位 選択 12 単位 以上 (単位認定科目) (単位認定科目)		
		倫理学	選択	1	前期	2	講義			○	○						○	○																		
		美術概論	選択	1	後期	2	講義										○	○																		
		文学入門	選択	1	後期	2	講義										○	○																		
		日本文化体験	選択	1	後期	2	演習										○		○																	
	社会	日本国憲法	選択	1	前期	2	講義			●	●	●					○	○	○	○																
		経済学	選択	1	前期	2	講義			○	○						○	○			○															
		世界史	選択	1	前期	2	講義			●							○	○			○															
		政治学	選択	1	後期	2	講義			○	○						○	○			○	○														
		日本史	選択	1	後期	2	講義			●											○	○														
	自然	社会学	選択	2	前期	2	講義	●		○	○						○	○																		
		数学入門	選択	1	前期	2	講義										○	○			○	○														
		人間と環境	選択	1	前期	2	講義										○	○																		
		生活科学	選択	1	前期	2	講義										○	○	○	○																
		生命科学	選択	1	後期	2	講義										○	○			○															
	言語	英語	選択	1	前期	2	演習			○	○	○						○																		
		韓国語 (基礎)	選択	1	前期	2	演習			○	○	○					○																			
		中国語 (基礎)	選択	1	前期	2	演習			○	○	○					○																			
		手話 (基礎)	選択	1	前期	2	演習										○		○																	
		韓国語 (応用)	選択	1	後期	2	演習										○		○																	
		中国語 (応用)	選択	1	後期	2	演習										○		○																	
		手話 (応用)	選択	1	後期	2	演習												○																	
		英語コミュニケーション	選択	2	前期	2	演習			○	○	○					○	○			○	○														
	スポーツ	スポーツ	選択	1	前期	2	講義			○	○	○						○			○	○														
		福祉とスポーツ	選択	1	後期	2	講義			○	○	○						○			○	○														
		スポーツ・コミュニケーション	選択	1	後期	2	演習			○	○	○					○				○	○														
	学びの基礎	基礎演習Ⅰ	必修	1	通年	2	演習										○				○															
		日本語表現法 (基礎)	必修	1	前期	2	演習										○	○																		
		情報リテラシー (基礎)	必修	1	前期	2	演習			●	●	●					○	○																		
		日本語表現法 (応用)	必修	1	後期	2	演習										○		○																	
		情報リテラシー (応用)	必修	1	後期	2	演習										○	○																		
		基礎演習Ⅱ	必修	2	通年	2	演習										○					○														
		実用日本語表現法	選択	2	前期	2	演習										○					○	○													
		社会福祉入門	選択	1	集中	2	演習											○																		
	探究	海外研修	選択	1	集中	2	演習											○	○																	
		地域探究Ⅰ (課題とニーズ)	選択	1	前期	2	演習											○																		
		地域探究Ⅱ (知識とスキル)	選択	1	後期	2	演習										○																			
		地域探究Ⅲ (フィールドワークA)	選択	2	前期	2	演習										○																			
		地域探究Ⅳ (フィールドワークB)	選択	2	後期	2	演習										○	○																		

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目(子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

○：該当する資格を取得するための選択必修科目。

○：該当する資格に関わる選択科目。

★：高校免許のみを取得する場合に必修。

※3 ○：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

共生社会学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学 年	開 講 期	単 位	授業 形態	他 学 科 履 修 ※1	資格 ※ 2										DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考
								社会福祉士 主任任用	中学校教諭 種免許 (社会)	高等学校教諭 種免許 (公民)	高等学校教諭 種免許 (福祉)	特別支援学校教諭	准学校心理士	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	共生社会の理念	多様性の尊重	異文化理解	多職種連携	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	心理支援技法の獲得	インクルーシブ教育	特別支援教育				
専門基礎科目	共生マインド実践講座	必修	1	通年	2	演習			●	●	●							○	◎	○	●	●							●				
	高齢者福祉論	必修	1	前期	2	講義		●				●				○	○		◎					●									
	障害者福祉論	必修	1	前期	2	講義		●									◎		○	○				●		●							
	ソーシャルワークの理論と方法I	必修	1	前期	2	講義		●									○	◎		○				●									
	ソーシャルワークの理論と方法II	必修	1	後期	2	講義		●										◎	○	○				●	●								
	児童・家庭福祉論	必修	1	後期	2	講義		●	●		●	●					◎	◎			●			●			●						
	社会保障論I	必修	2	前期	2	講義		●		●	●					○		○		◎	●												
	ソーシャルワーク演習	必修	2	前期	2	演習		●				●						◎	○					●									
	ソーシャルワーク演習(専門)I	必修	2	後期	2	演習		●				●						◎	○	○				●	●		●						
	法学	選択	1	前期	2	講義	○			◎	◎					○	○		○	○			●										
	公的扶助論	選択	1	後期	2	講義		●				○					○			◎	●												
	教育心理学	選択	1	後期	2	講義	○			●	●	●		●			○	○	○	○								●	●				
	宗教学	選択	1	後期	2	講義	○			◎	◎						◎		○			●	●										
	臨床心理学概論	選択	1	後期	2	講義	○									○	◎											●					
	児童心理学	選択	1	後期	2	講義	○									○	○	◎										●					
	医学概論	選択	2	前期	2	講義		●									◎		○	○				●	●								
	地域福祉論I	選択	2	前期	2	講義		●				○					◎		◎	●													
	教育原理	選択	2	前期	2	講義	○			●	●	●		●			○	○		○								●	●				
	特別支援教育概論	選択	2	前期	2	講義	○			●	●	●					◎	○	○										●	●			
	民族と国家	選択	2	前期	2	講義	○				◎						◎	○			●		●										
	地理学	選択	2	前期	2	講義	○			●						◎	○	○				●		●									
	カウンセリング	選択	2	前期	2	講義								●			◎	○	○		●		●					●	●	●			
	インクルーシブ教育	選択	2	前期	2	講義	○										○	◎	○		●	●	●					●	●				
	社会福祉の原理と政策I	選択	2	後期	2	講義		●				○				○	◎	○		●													
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)I	選択	2	後期	2	講義		●				○					○	○	○				●	●									
	共生社会論	選択	2	後期	2	講義				◎	◎					○	◎		○		●	●			●	●							
	教育相談	選択	2	後期	2	講義	○			●	●	●		●				◎		◎	●		●						●	●			
	道徳の理論及び指導法	選択	2	後期	2	講義				●	●						○	○		◎	●									●			
	知的障害者の心理	選択	2	後期	2	講義	○						●			○	○	○	○			●						●	●				
	知的障害者の生理・病理	選択	2	後期	2	講義	○						●				◎	○		○									●	●			
	肢体不自由者の心理	選択	2	後期	2	講義	○						●				○	○	○	○			●					●	●				
	肢体不自由者の生理・病理	選択	2	後期	2	講義	○						●				◎	○		○					●				●	●			
	発達心理学	選択	2	後期	2	講義							●	●			○	○		◎								●					
	会計学	選択	2	後期	2	講義	○									○	○		○	○	●												
	教職総合講座I	選択	3	通年	2	講義											○			◎									●	(単位認定科目)			
	キャリア講座	選択	3	通年	2	演習													○	◎	●									(単位認定科目)			
	保健医療と福祉	選択	3	前期	2	講義		●								◎	○	○		●													
	ソーシャルワークの基盤と専門職	選択	3	前期	2	講義		●								○	◎		○				●										
	社会調査法	選択	3	前期	2	講義		●		◎	◎					○	◎			○	●	●											
	司法福祉論	選択	3	前期	2	講義		●									◎			◎	●												
	加齢・障害の理解	選択	3	前期	2	講義	○					●				○	○		○					●	●								
	教育社会学	選択	3	前期	2	講義	○										◎		○	○	●									●			
	介護福祉論	選択	3	前期	1	講義						●				○			○					●	●								
	福祉サービスの組織と経営	選択	3	後期	2	講義		●									◎		○	○	●												
	権利擁護を支える法制度	選択	3	後期	2	講義		●									◎	◎			●	●											
	伝統宗教と日本社会	選択	3	後期	2	講義	○			◎	◎					◎	○				●		●										
	多文化共生	選択	3	後期	2	講義											◎	○			●	●	●										
	介護技術	選択	3	後期	1	演習						●								◎						●	●						
	教職総合講座II	選択	4	通年	2	講義										○			○	◎									●	(単位認定科目)			
	地域探究Ⅴ(地域課題の理解と解決法)	選択	3	集中	2	演習											○	○		◎													

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

◎：該当する資格を取得するための選択必修科目。

○：該当する資格に関わる選択科目。

★：高校免許のみを取得する場合に必修。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

共生社会学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	他学科履修 ※1	資格 ※ 2										DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
								社会福祉士 主任任用	中学校教諭 種免許 (社会)	高等学校教諭 種免許 (公民)	高等学校教諭 種免許 (福祉)	特別支援学校教諭	准学校心理士	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	共生社会の理念	多様性の尊重	異文化理解	多職種連携	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	心理支援技法の獲得	インクルーシブ教育	特別支援教育																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
専門発展科目	専門演習Ⅰ	必修	3	通年	4	演習										○		○	◎	◎	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										</

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目(子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●: 該当する資格を取得するための必修科目。

◎: 該当する資格を取得するための選択必修科目。

○: 該当する資格に関わる選択科目。

★: 高校免許のみを取得する場合に必修。

※3 ◎: 課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●: 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

(単位認定科目)

(単位認定科目)

(単位認定科目)

共生社会学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	他学科履修 ※1	資格 ※ 2										DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考
								社会福祉士 主任任用	中学校教諭 種免許 (社会)	高等学校教諭 種免許 (公民)	高等学校教諭 種免許 (福祉)	特別支援学校教諭	准学校心理士	ピアヘルパー	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	共生社会の理念	多様性の尊重	異文化理解	多職種連携	高齢者福祉	障害者福祉	児童・家庭福祉	心理支援技法の獲得	インクルーシブ教育	特別支援教育				
																														1	2	3	
卒業要件外の教職科目	社会科教育法	選択	3	前期	2	講義			●						○	○			◎		●											●	
	社会科指導法	選択	3	前期	2	講義			●						○		○	○	○		●											●	
	福祉科教育法	選択	3	前期	2	講義					●				○		○	○	○													●	
	特別活動の指導法	選択	3	前期	1	講義			●	●	●						○		○													●	
	福祉科指導法	選択	3	後期	2	講義					●				○	○		○	○													●	
	公民科教育法	選択	3	後期	2	講義			●	●					○	○		◎		●												●	
	公民科指導法	選択	3	後期	2	講義			●	●						○		○	◎		●											●	
	総合的な学習の時間の指導法	選択	3	後期	1	講義			●	●	●				○		○															●	
	教育実習指導	選択	4	通年	2	演習			●	●	●						◎	○	○													●	
	特別支援教育実習指導	選択	4	通年	2	演習						●					○	◎	○													●	
	教職実践演習 (中・高)	選択	4	後期	2	演習			●	●	●							○	◎													●	
	中学校教育実習	選択	4	集中	4	実習			●	○	○						○	◎	◎													●	
	高等学校教育実習	選択	4	集中	2	実習				★	★						◎	○	○													●	
	特別支援教育実習	選択	4	集中	2	実習						●					○	◎	○												●	●	

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

◎：該当する資格を取得するための選択必修科目。

○：該当する資格に関わる選択科目。

★：高校免許のみを取得する場合に必修。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

子ども教育学科

(1) 卒業に必要な単位数と授業科目

科目区分	履修区分	単位数
総合教育科目	必修	18 単位
	選択	10 単位以上
	小計	28 単位以上
専門基礎科目	必修	50 単位
	選択	任意
	小計	50 単位以上
専門発展科目	必修	4 単位
	選択	任意
	小計	4 単位以上
専門基礎科目 又は 専門発展科目	選択	42 単位以上
	小計	42 単位以上
合 計		124 単位以上

子ども教育学科 開設授業科目

(カリキュラム・マップ：卒業認定・学位授与方針に基づく「課程修了時の資質・能力」と各授業科目との関係を表す)

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	資格 ※ 1										DCU 学士力 (基礎力) ※ 2		DCU 学士力 (専門性) ※ 3										備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
							小 学 校 教 諭 第 種	幼 稚 園 教 諭 第 種	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用	准 学 校 心 理 士	ピ ア ヘ ル パ ー	ジ ニ ア ス ポ ー ツ	キ ャ ン プ ス イ ン ス ト ラ ク タ ー	知 識 ・ 技 能	思 考 力	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力	意 欲 ・ 姿 勢	問 題 解 決 力	子 ど も 理 解	教 育 ・ 保 育 の 制 度 と 体 系	幼 保 小 連 携	教 育 ・ 保 育 実 践	子 育 て 支 援 ・ 保 護 者 支 援 と 地 域 連 携	教 育 ・ 保 育 の 多 様 性	ア ー ト 表 現	ス ポ ー ツ 健 康	教 科 の 指 導 法		保 育 内 容 の 指 導 法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
																															1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
総合教育科目	人間	心理学	必修	1	前期	2	講義			●	●					○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</

※ 1 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

○：該当する資格を取得するための選択必修科目。

○：該当する資格に関わる選択科目。

※ 2 ○：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※ 3 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

子ども教育学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講 期	単位	授業 形態	資格 ※ 1										DCU 学力 (基礎力) ※ 2					DCU 学力 (専門性) ※ 3										備考	
							小学校教諭第 種	幼稚園教諭第 種	保育士	社会福祉主 事任用	准学校心理 士	ピアヘル パー	ジュニアスポ ーツ	キャン プイン ストラク ター	知識・技 能	思考 力	3 意欲・姿 勢	4 問題解決 力	5 子ども理 解	1 教育・保 育の制度 と体系	2 教育・保 育実践	3 幼児小 連携	4 子育て支 援・保護 者支援	5 教育・保 育の多様 性	6 アートの 表現	7 スポーツ 健康	8 教科の指 導法	9 保育内 容の指導 法	10				
専門基礎科目	保育・教育マインド実践講座	必修	1	通年	2	演習	●	●	●									○	◎				●	●									
	子ども理解の理論と方法	必修	1	通年	2	演習	●	●	●									○	◎	●			●										
	教育の原理	必修	1	前期	2	講義	●	●	●						◎	○		○		●	●												
	保育原理	必修	1	前期	2	講義			●						◎	○		○		●	●												
	社会福祉概論	必修	1	前期	2	講義				●	●				○	○		○	○		●			●									
	子どもと音楽表現I	必修	1	前期	1	演習		●	●									○	○							●						●	
	子どもと造形表現I	必修	1	前期	1	演習		●	●									○	○								●					●	
	子ども家庭福祉論	必修	1	後期	2	講義			●	●								◎		○	○		●										
	発達心理学	必修	1	後期	2	講義	●	●	●		●	●			○	◎			●		●												
	子どもと音楽表現II	必修	1	後期	1	演習		●	●									○	○								●					●	
	子どもと造形表現II	必修	1	後期	1	演習		●	●									○	○								●					●	
	子どもと健康	必修	1	後期	1	演習		●	●							○	○											●					●
	教職概論	必修	2	前期	2	講義	●	●	●						◎	○		○		●	●												
	カウンセリング	必修	2	前期	2	講義		●	●		●							○	○	◎	●			●									
	保育内容(健康)	必修	2	前期	2	演習		●	●									○	◎													●	
	子どもと人間関係	必修	2	前期	1	演習		●	●									○	○	○	●											●	
	子どもと言葉	必修	2	前期	1	演習		●	●							○		○		●												●	
	カリキュラム論	必修	2	後期	2	講義	●	●	●										○	◎			●	●									
	特別支援教育・保育論	必修	2	後期	2	演習	●	●	●	●								◎	○	○		●	●										
	保育内容(人間関係)	必修	2	後期	2	演習		●	●									◎	○													●	
	保育内容(言葉)	必修	2	後期	2	演習		●	●						◎		◎															●	
	子どもと環境	必修	2	後期	1	演習		●	●									○		○	●											●	
	保育内容(環境)	必修	3	前期	2	演習		●	●						◎	○																●	
	保育内容(表現)	必修	3	前期	2	演習		●	●									○	◎													●	
	教育・保育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	必修	3	後期	2	講義	●	●	●						○			○	◎		●	●											
	教育相談	必修	3	後期	2	講義	●	●		●								○	○	◎		●	●										
	学校経営論	必修	3	後期	2	講義	●	●												◎		●	●										
	児童文化	必修	3	後期	2	講義		●	●									◎	○	○				●			●						
	保育内容総論	必修	3	後期	2	演習		●	●						○				◎													●	
	スポーツ(保育)	選択	1	後期	1	実技			●										○	○										●			
	教育史	選択	2	前期	2	講義	○	○							◎	○		○			●	●											
	国語	選択	2	前期	2	講義	◎								◎	○						●									●		
	生活	選択	2	前期	2	講義	◎											◎	○			●										●	
	音楽	選択	2	前期	2	講義	◎											◎	○			●										●	
	図画工作	選択	2	前期	2	講義	◎											◎	○			●										●	
	体育	選択	2	前期	2	講義	◎											◎	○			●										●	
	子どもと家族の心理学	選択	2	前期	2	講義			●									○	○	○	●			●									
	子どもの保健	選択	2	前期	2	講義			●						◎	○		○		○	●		●										
	乳児保育I	選択	2	前期	2	講義			●						○	○	○	○		○	●		●										
	社会的養護I	選択	2	前期	2	講義			●						◎			◎		○	●			●									
	道德教育の理論と方法	選択	2	後期	2	講義	●								○	◎				●			●								●		
	子ども家庭支援論	選択	2	後期	2	講義			●									◎		◎	●			●									
	国語科指導法	選択	2	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	生活科指導法	選択	2	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	音楽科指導法	選択	2	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	図画工作科指導法	選択	2	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	体育科指導法	選択	2	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	子どもの食と栄養	選択	2	後期	2	演習			●						◎	○				●			●										
	乳児保育II	選択	2	後期	1	演習			●								○		○	●		●											
	子どもの健康と安全	選択	2	後期	1	演習			●								○		○	●		●											
	社会	選択	3	前期	2	講義	◎								○	◎							●									●	
	算数	選択	3	前期	2	講義	◎								○	◎																●	
	理科	選択	3	前期	2	講義	◎								○	◎																●	
	家庭	選択	3	前期	2	講義	◎											○		◎			●									●	
	外国語(英語)	選択	3	前期	2	講義	◎								○		◎						●									●	
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	選択	3	前期	2	講義	●									◎		○					●									●	
	社会的養護II	選択	3	前期	1	演習			●						○			○		○	●			●									
	子育て支援	選択	3	前期	1	演習			●									○	○		●			●									
	生徒指導・キャリア教育	選択	3	後期	2	講義	●											○	◎				●									●	
	社会科指導法	選択	3	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	算数科指導法	選択	3	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	理科指導法	選択	3	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	家庭科指導法	選択	3	後期	2	演習	●								○	◎																●	
	外国語(英語)指導法	選択	3	後期	2	演習	●								○	◎																●	

必修
50 単位
「専門基礎科目」
又は
「専門発展科目」
の選択科目から
42 単位以上選択

子ども教育学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	資格 ※ 1										DCU 学士力 (基礎力) ※ 2					DCU 学士力 (専門性) ※ 3										備考			
							小学校教諭第種	幼稚園教諭第種	保育士	社会福祉士主任任用	准学校心理士	ピアヘルパー	ジュニアスポーツ	キャンピングインストラクター	知識・技能	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
専門発展科目	専門演習	必修	3	通年	2	演習							◎				◎	●			●														[単位認定科目] 必修 4単位 [専門基礎科目] 又は [専門発展科目] の選択科目から 42単位以上選択 <

- ※ 1 ● : 該当する資格を取得するための必修科目。
 ◎ : 該当する資格を取得するための選択必修科目。
 ○ : 該当する資格に関わる選択科目。
- ※ 2 ◎ : 課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。
 ○ : 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。
- ※ 3 ● : 課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

心理学科

(1) 心理学科の概要

人間科学部では「共生」をテーマとしている。ここで言う「共生」とは人間同士の共生であり「個人や集団が多様で多元的な存在であることを相互に理解、尊重し、心理的、社会的に安全・安心な生活実現を目指すこと」である。これを実現させるため「多様、多元な個人や集団の特徴や、共生実現に関わる課題、およびその解決に関わる様々な知見や技術を、人間行動や思考、協力や協働といった広汎な観点から人間科学的に探求」する。加えて、共生の当事者による学び合いを尊重する観点から、生涯学習の理論や方法を活用することが本学人間科学部の特徴である。

これを踏まえて心理学科では「障がい者、高齢者、子どもやメンタルヘルス不調者を中心として、多様・多元な人々が共生するうえで生じる様々な心理的困難や課題の探求、解決および心理支援を行い、さらに人々のメンタルヘルス維持・増進や、心理支援者である自らの資質向上のために生涯学習の理念に即して活動できる人材」養成を行う。

(2) 卒業に必要な単位数と授業科目

科目区分	履修区分	単位数
総合教育科目	必修	14単位
	選択	10単位以上
	小計	24単位以上
専門基礎科目	必修	22単位
	選択	14単位以上
	小計	36単位以上
専門発展科目	必修	16単位
	選択	38単位以上
	小計	54単位以上
(自由選択履修) 各科目区分の要件を超えて修得した単位 (余剰単位) および他学部他学科開講科目 から修得した単位		10単位以上
合 計		124単位以上

心理学科 開設授業科目

(カリキュラム・マップ：卒業認定・学位授与方針に基づく「課程修了時の資質・能力」と各授業科目との関係を表す)

区分		授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※ 1	資格※ 2			DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考
									公 認 心 理 師	社 会 教 育 士	認 定 心 理 士	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
												知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	人間共生課題探求	心理学基礎知識	心理学関連領域知識	心理学的思考	心理支援の理論・技法	領域別心理支援実践	生涯学習の理論と知識	生涯学習関連領域知識	生涯学習支援活動	研究・支援の倫理と態度	
総合教育科目	人間	心理学	選択	1	前期	2	講義						◎		◎												
		倫理学	選択	1	前期	2	講義					○	◎														
		美術概論	選択	1	後期	2	講義						◎		◎												
		文学入門	選択	1	後期	2	講義					○		◎	○												
	社会	日本文化体験	選択	1	後期	2	演習					○			◎	○											
		日本国憲法	選択	1	前期	2	講義					○	○	○	○												
		経済学	選択	1	前期	2	講義					◎	○				○										
		世界史	選択	1	前期	2	講義					○	◎		○												
		政治学	選択	1	後期	2	講義					○	○		○	○											
		日本史	選択	1	後期	2	講義									○	◎										
	自然	社会学	選択	2	前期	2	講義					○	◎														
		数学入門	選択	1	前期	2	講義					○	○		○	○											
		人間と環境	選択	1	前期	2	講義					○	◎				○										
		生活科学	選択	1	前期	2	講義					○	○	○	○	○											
	言語	生命科学	選択	1	後期	2	講義					○	◎		○												
		英語	必修	1	前期	2	演習								◎	○											
		韓国語(基礎)	選択	1	前期	2	演習					○		◎	○	○											
		中国語(基礎)	選択	1	前期	2	演習					○		◎	○	○											
		手話(基礎)	選択	1	前期	2	演習					○		◎	○	○											
		韓国語(応用)	選択	1	後期	2	演習					○		◎		○											
		中国語(応用)	選択	1	後期	2	演習					○		◎		○											
		手話(応用)	選択	1	後期	2	演習								◎	○	○										
		英語コミュニケーション	選択	2	前期	2	演習					○	○	◎													
	スポ ーツ	スポーツ	選択	1	前期	2	講義								◎	◎	○										
		福祉とスポーツ	選択	1	後期	2	講義						○	○	○	○	○										
		スポーツ・コミュニケーション	選択	1	後期	2	演習					○		○	◎												
	学 び の 基 礎	基礎演習I	必修	1	通年	2	演習					◎				◎											
		日本語表現法(基礎)	必修	1	前期	2	演習					◎	○				○										
		情報リテラシー(基礎)	必修	1	前期	2	演習					◎	◎				○										
		日本語表現法(応用)	必修	1	後期	2	演習					○		◎													
		情報リテラシー(応用)	必修	1	後期	2	演習					◎	◎				○										
		基礎演習II	必修	2	通年	2	演習					○		○			◎										
		実用日本語表現法	選択	2	前期	2	演習					○			○	◎											
		社会福祉入門	選択	1	集中	2	演習						○		◎												
		海外研修	選択	1	集中	2	演習							○	◎	○											
	探 究	地域探究I(課題とニーズ)	選択	1	前期	2	演習						○		○	◎											
		地域探究II(知識とスキル)	選択	1	後期	2	演習					○		○			◎										
		地域探究Ⅲ(フィールドワークA)	選択	2	前期	2	演習					○		○		◎											
		地域探究Ⅳ(フィールドワークB)	選択	2	後期	2	演習						○	○		◎											

必修
14 単位

選択
10 単位
以上

(単位認定科目)
(単位認定科目)

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目(子ども教育学部子ども教育学科は除く)。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

★：認定心理士の科目に加えて★の付された科目を修得すると、認定心理士(心理調査)が取得可能になる。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

心理学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・ 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	他学科履修 ※ 1	資格※ 2		DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考				
								公認心理師	社会教育士	認定心理士	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	意欲・姿勢	問題解決力	人間共生課題探究	心理学基礎知識	心理学関連領域知識	心理学的思考	心理支援の理論・技法	領域別心理支援実践	生涯学習の理論と知識	生涯学習関連領域知識	生涯学習支援活動		研究・支援の倫理と態度			
専門基礎科目	人間科学マインド	必修	1	通年	4	演習					○	◎	◎	○	●													必修 22 単位 選択 14 単位 以上	
	心理学概論	必修	1	前期	2	講義	○	●		●	○	○	◎				●												
	発達心理学I	必修	1	前期	2	講義		●		●	◎	○			○		●												
	生涯学習概論I	必修	1	前期	2	講義	○		●		○	◎	○												●				
	発達心理学II	必修	1	後期	2	講義	○	●		●	○				◎		●												
	生涯学習概論II	必修	1	後期	2	講義	○		●		○	◎			○										●				
	心理的アセスメント	必修	1	後期	2	講義	○	●		●	◎			○	○					●									
	心理学的支援法	必修	1	後期	2	講義	○	●		●	○	○	○		○				●										
	心理学統計法	必修	2	前期	2	講義	○	●		●	○	○			◎		●												
	心理学実験	必修	2	前期	2	演習		●		●	○	◎				●		●											
	学習・言語心理学	選択	1	前期	2	講義	○	●		●		◎		◎		●													
	人体の構造と機能及び疾病	選択	1	前期	2	講義	○	●			○	○		◎				●											
	知覚・認知心理学	選択	1	後期	2	講義	○	●		●		◎			◎		●		●										
	社会・集団・家族心理学	選択	1	後期	2	講義	○	●		●			○	○	○		●								●				
	臨床心理学概論	選択	1	後期	2	講義	○	●		●	○	◎					●		●										
	神経・生理心理学	選択	1	後期	2	講義	○	●		●	○	○		◎			●		●										
	心理学研究法	選択	2	前期	2	講義	○	●		●	○	○		○	○		●												
	感情・人格心理学	選択	2	前期	2	講義	○	●		●				◎	○		●		●										
	心の発達と生涯学習	選択	2	前期	2	講義	○		◎			○		◎	○												●		
	関係行政論	選択	2	後期	2	講義	○	●			○	○		○	○			●											
	心理学の歴史と発展	選択	2	後期	2	講義	○			●	○	◎			○			●											
	現代社会とジェンダー	選択	2	後期	2	講義	○		◎			○	◎														●		
	心理学応用実験	選択	2	後期	2	演習				●		○	○	○	○		●		●										
	障がい者スポーツ支援	選択	2	後期	2	演習			◎			○	○		○	○											●		
	多文化共生	選択	3	後期	2	講義			◎			◎	○														●		
	地域探究V(地域課題の理解と解決法)	選択	3	集中	2	演習						○	○		◎														

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

◎：該当する資格を取得するための選択必修科目。

★：認定心理士の科目に加えて★の付された科目を修得すると、認定心理士（心理調査）が取得可能になる。

※3 ◎：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

心理学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025 年度以降入学生)	必修・選 択の別	学 年	開 講 期	単 位	授 業 形 態	他 学 科 履 修 ※ 1	資格※ 2		DCU 学士力 (基礎力) ※ 3					DCU 学士力 (専門性) ※ 4										備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
								公 認 心 理 師	社 会 教 育 士	認 定 心 理 士	知 識・技 能	思 考 力	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 力	意 欲・姿 勢	問 題 解 決 力	人 間 共 生 課 題 探 求	心 理 学 基 礎 知 識	心 理 学 関 連 領 域 知 識	心 理 学 的 思 考	心 理 支 援 の 理 論・技 法	領 域 別 心 理 支 援 実 践	生 涯 学 習 の 理 論 と 知 識	生 涯 学 習 関 連 領 域 知 識	生 涯 学 習 支 援 活 動		研 究・支 援 の 倫 理 と 態 度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
専門発展科目	教育・学校心理学	必修	1	後期	2	講義	○	●	●	○	○			●			●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

※1 「○」の付された科目は所属する学科・専攻以外の学生も履修ができる科目（子ども教育学部子ども教育学科は除く）。

※2 ●：該当する資格を取得するための必修科目。

○：該当する資格を取得するための選択必修科目。

★：認定心理士の科目に加えて★の付された科目を修得すると、認定心理士（心理調査）が取得可能になる。

※3 ○：課程修了時の資質・能力の該当項目と大きく関わる。

○：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

※4 ●：課程修了時の資質・能力の該当項目と関わる。

田園調布学園大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの運営に関する規則

(主旨)

第1条 今後のデジタル社会において、田園調布学園大学（以下「本学」という。）の学生が「データ」をもとに事象を適切に捉え、分析・説明できる能力を修得することを目的に、本学において「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」（以下「本プログラム」という。）を開設し、田園調布学園大学組織規程第19条第2項の規定に基づき、教学マネジメント検討会議（以下「検討会議」という。）に部会を設け、その運営に関する規則を以下のとおり定める。

(構成)

第2条 部会は、次の各号の者をもって構成する。

- 1 部会長は、検討会議の長が指名する者とし、部会を運営し、統括する。
- 2 委員は、部会長が指名する者とする。

(業務)

第3条 部会は、第1条に規定する主旨に基づき次に掲げる業務を行う。

- 1 本プログラムの周知及び運営に関すること。
- 2 本プログラムの改善・向上に関すること。
- 3 その他部会が必要と認めること。

(評価及び認定)

第4条 学生の評価は、統一的な基準に基づき実施し、一定の水準に達した者には認定証を交付する。

- 2 評価基準及び実施方法は、別に定める。

(データの取扱い)

第5条 個人情報の取扱いは、田園調布学園大学学生個人情報保護規程に基づき適正に管理し、本プログラムで得られたデータは、学生指導及び教育改善のためにのみ活用する。

(自己点検・評価)

第6条 数理・データサイエンス・AI 教育に係る自己点検・評価については、田園調布学園大学自己点検・評価規程の定めるところにより、検討会議が行う。

(改廃)

第7条 この規則の改廃は、検討会議の議を経て行う。

附 則

この規則は、令和8年5月7日から施行し、令和8年4月1日から適用する。

田園調布学園大学 自己点検・評価規程

(目的)

第1条 この規程は、田園調布学園大学学則第2条の規定に基づく本学の自己点検・評価の実施について、必要な事項を定めることを目的とする。

(実施時期)

第2条 自己点検・評価は毎年度実施し、認証評価機関による第三者評価については最長7年を周期として実施する。

(対象項目)

第3条 自己点検・評価の対象項目は、次の事項とする。

- (1) 使命・目的等に関する事項
- (2) 学生に関する事項
- (3) 教育課程に関する事項
- (4) 教員・職員に関する事項
- (5) 経営・管理と財務に関する事項
- (6) 内部質保証に関する事項
- (7) その他学長が必要と認めた本学独自の事業に関する事項

2 前項各号に掲げる対象項目に係る詳細事項については、次条第1項に定める委員会の委員長が、学長と協議の上決定するものとする。

(自己点検・評価委員会)

第4条 自己点検・評価を推進するために、自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を田園調布学園大学組織規程（以下「組織規程」という。）第18条の規定に基づき設置するものとする。

2 委員長が特に必要と認めるときは、委員会の下に小委員会を設けることができる。

(委員)

第5条 委員は、組織規程第21条に規定する方法により決定する。

2 学長が必要と認めるときは、適宜他の教職員をこれに加えることができる。

(委員会の任務)

第6条 委員会は、次の事項を任務とする。

- (1) 自己点検・評価についての活動方針に関すること。
- (2) 自己点検・評価の対象となる項目に関すること。
- (3) 自己点検・評価の実施計画及びスケジュールの立案に関すること。
- (4) 自己点検・評価の実施及びその結果の取りまとめに関すること。
- (5) 自己点検・評価の分析結果に基づく改善策の提言に関すること。
- (6) 自己点検・評価に係る報告書の作成に関すること。
- (7) その他自己点検・評価について委員会が必要と認めた事項に関すること。

2 委員会は、当年度の自己点検・評価の結果を学長に報告する。

(自己点検・評価結果の取扱い)

第7条 自己点検・評価の結果は、教授会及び理事会へ報告した後、適切な方法で公表する。

2 学内各組織は、自己点検・評価の結果の改善策及び提言等を、次年度以降の業務において活用するものとする。

(委任)

第8条 この規程の施行に関し、必要な事項は学長が定める。

附 則

1 この規程は、平成 21 年 12 月 22 日から施行する。

2 田園調布学園大学自己点検・評価規程（平成 11 年 10 月）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 24 年 10 月 16 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 5 月 30 日から施行し、改正後の同規程は、平成 29 年 4 月 1 日に遡及して適用する。

大学等名	田園調布学園大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	田園調布学園大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和8年度

数理・データサイエンス・AI教育プログラム取り組み概要

【プログラムの目的】

デジタル社会に必要な数理・データサイエンス・AIの基礎を身につけ、人間中心の判断のもと主体的に活用できる力を養うことを目的とする。

【身につけられる能力】

数字やデータを根拠に考え、必要な情報を見極め、AIの仕組みを理解して活用できる力が身に付く。

【開講されている科目】

- ・情報リテラシー(基礎):1年前期2単位
- ・情報リテラシー(応用):1年後期2単位

【修了要件】

必修科目として開講している「情報リテラシー(基礎)」と「情報リテラシー(応用)」を履修し、4単位修得すること。

【授業方法・学修支援、授業改善の体制】

- ・授業はオンデマンド形式で実施し、履修中は何度でも反復学習が可能。
- ・教員への質問はLMSまたはオフィスアワーを活用。

